

# FUJIFILM

BL04650-100 **JA**

DIGITAL CAMERA

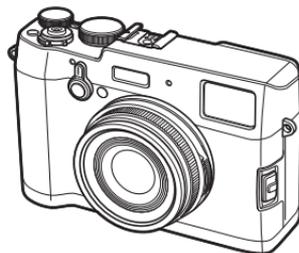
# X100T

## 使用説明書（基本操作編）

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、  
ありがとうございます。

X100T スペシャルサイト：

<http://fujifilm-x.com/x100t/>



本製品のさらに詳しい内容については、オンラインマニュアルを併せて  
ご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/manuals/>

はじめに

撮影の準備

撮影と再生

各部名称

メニュー一覧

付録

お取り扱いにご注意ください





## カメラをお使いになる前に

次の手順にしたがって  
準備してください

1

箱の中の付属品が  
すべてそろっているかを  
確認してください（右記）。



2

カメラを安全に使用されるために、  
「お取り扱いにご注意ください」  
をお読みください。



3

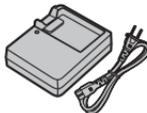
本書をよくお読みの上、  
カメラをお使いください。

### ■ 付属品一覧

- 充電式バッテリー NP-95 (1 個)
- レンズキャップ (1 式)



- バッテリーチャージャー  
BC-65N (1 式)



- ストラップリング  
取り付け補助具 (1 個)



- 専用 USB ケーブル (1 本)



- ストラップリング (2 個)



- 使用説明書（本書）
- 保証書（1 部）

- ストラップリングカバー (2 枚)
- ショルダーストラップ (1 本)

## 本書について

---

### 本書で使われている記号について

- ①：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- ◆：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

### 使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販のSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードをお使いになります。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

## お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようなお手入れすることをおすすめします。

- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- レンズ、液晶モニター表面などの汚れはプロアブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、フジフィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- レンズ、液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。

# 目次

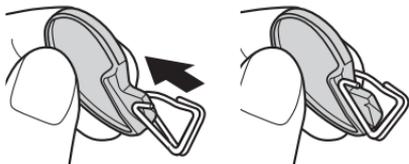
はじめに	2
カメラをお使いになる前に	2
本書について	3
お手入れについて	4
<b>撮影の準備</b>	<b>6</b>
ストラップを取り付ける	6
バッテリーを充電する	8
バッテリーとメモリーカードを入れる	10
電源をオンにする / オフにする	12
初期設定を行う	13
<b>撮影と再生</b>	<b>14</b>
静止画を撮影する	14
静止画を再生する	16
1 コマ再生	16
撮影時の情報確認	17
再生ズーム	18
マルチ再生	19
画像を消去する	20
1 コマ消去	20
複数指定消去	21
全コマ消去	21
動画を撮影 / 再生する	22
ハイビジョン動画を撮影する	22
動画を再生する	22
カメラをパソコンに接続して画像を転送する	23

<b>各部名称</b>	<b>24</b>
各部の名称	24
画面の表示	36
静止画撮影時	36
再生時	40
<b>メニュー一覧</b>	<b>42</b>
撮影の設定を変える — 撮影メニュー	42
撮影メニューの使い方	42
撮影メニュー一覧	43
再生の設定を変える — 再生メニュー	45
再生メニューの使い方	45
再生メニュー一覧	46
カメラの設定を変える — セットアップメニュー	47
セットアップメニューの使い方	47
セットアップメニュー一覧	48
<b>付録</b>	<b>50</b>
<b>FUJIFILM X100T</b> 製品情報	50
<b>FUJIFILM</b> 無料アプリケーション	50
撮影の基礎知識	51
デジタルカメラ撮影ガイド	51
<b>お取り扱いにご注意ください</b>	<b>52</b>

## ストラップを取り付ける

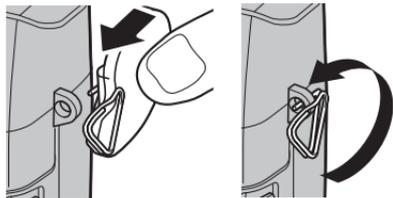
カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

- 1** ストラップリング取り付け補助具およびストラップリングの向きに注意して、図のようにストラップリングの切りこみを広げます。



- ① ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外すときも使用しますので、大切に保管してください。

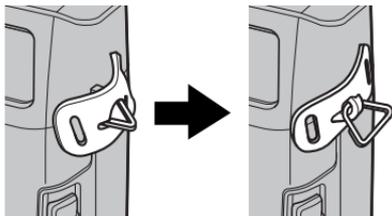
- 2** ストラップリングの切り込みを、ストラップ取り付け部に引っ掛けます。手を添えながら、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。



- 3** ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。



- 4** ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、切り欠き部分からストラップリングを通して、カメラに取り付けます。

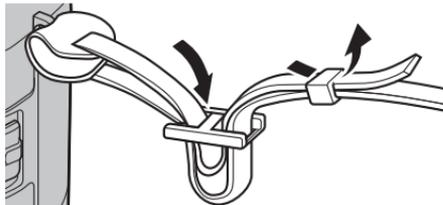


反対側も同様に、手順 1 ~ 4 を繰り返して取り付けます。

- 5** ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通します。



- 6** ストラップを止め具に通します。



反対側も同様に、手順 5 ~ 6 を繰り返して取り付けます。

- ① ストラップの取り付けかたを間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

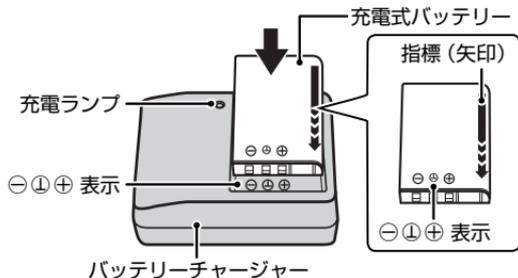
## バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。

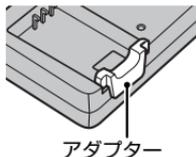
- お客様がお使いのバッテリーは NP-95 です。
- 充電時間は、約 4 時間です。

**1** バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

⊖ ⊕ ⊕ 表示に従って、下図の方向で正しくセットしてください。



◆ 充電時は付属のアダプターを装着してください（付属のバッテリーチャージャーは、工場出荷時にアダプターが装着された状態になっています）。



① 付属の AC コードは、バッテリーチャージャー BC-65N 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。

**2** 電源プラグを屋内のコンセントに差し込みます。充電ランプが点灯して、充電を開始します。

**3** 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

### ● 充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着 フル充電 (充電終了)	充電するバッテリーを装着してください バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください

- ① 同梱されている充電器は 100 ～ 240V まで対応しており、海外でもご使用頂けます。変換プラグアダプターが必要な場合がありますので、あらかじめ旅行代理店などにお問い合わせください。
- ① 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ① バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- ① バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- ① バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- ① 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- ① 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- ① バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）には、バッテリーを充電してください。
- ① 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- ① バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ① 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- ① 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。

### ● パソコンに接続してバッテリーを充電する

カメラにバッテリーを入れた状態でパソコンに接続すると、バッテリーを充電できます。付属のUSBケーブルでパソコンと接続してください。



- ① USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- ① 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USBケーブルを接続しなおしてください。
- ① パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- ◆ カメラの電源をオンにしているときは画面のアイコンで、オフにしているときはインジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。

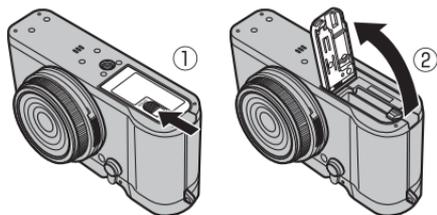
電源オン時のアイコン	電源オフ時のインジケータランプ	バッテリーの状態
(黄点灯)	点灯	充電中
(緑点灯)	消灯	充電完了
(赤点灯)	点滅	バッテリー異常

## バッテリーとメモリーカードを入れる

カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。

**1** バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。

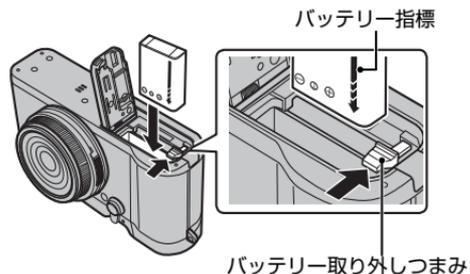
- ① カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- ① バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。



**2** バッテリーを入れます。

図のように金色の端子を下にして、バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。

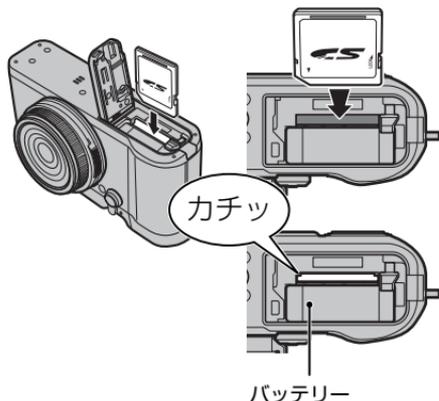
- ① バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがありますので、指標（矢印）の位置がカメラ内部のイラストと合うように確認して、正しい向きで挿入してください。
- ① バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。



### 3 メモリーカードを入れます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

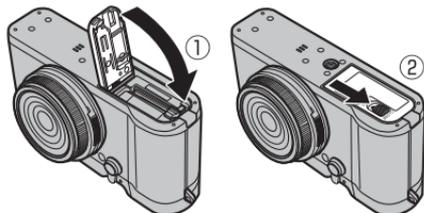
- ① メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。メモリーカードが正しく入っていないと、撮影された画像は内蔵メモリー（と画面に表示されます）に記録されます。



### 4 バッテリーカバーを開めます。

バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを閉めてください。

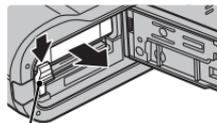
- ① バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。



●● バッテリー / メモリーカードを取り出すときはカメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。

#### ・バッテリーを取り外す

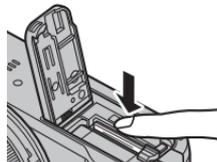
バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



バッテリー取り外しつまみ

#### ・メモリーカードを取り外す

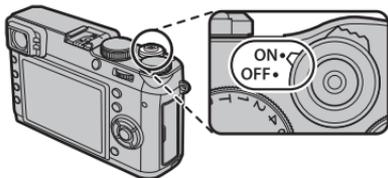
メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。



- ① 押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

## 電源をオンにする / オフにする

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。 **OFF** に合わせると、電源がオフになります。



- ◆ 撮影中に **再生** ボタンを押すと、再生モードになります。
  - ◆ 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
  - ◆ 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。セットアップメニューの **消費電力設定** > **自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンの半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。
- ① レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

### バッテリー残量の表示



画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

表示	意味
	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約 $\frac{2}{3}$ です。
	バッテリーの残量は約 $\frac{1}{3}$ です。できるだけ早く充電してください。
(赤点灯)	バッテリー残量がありません。バッテリーを充電してください。

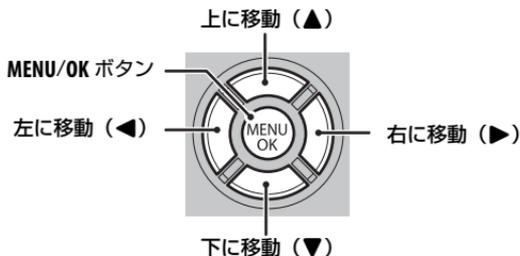
## 初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。次の手順で使用する言語や日時などの初期設定を行います。

- ◆ 言語や日時の設定をやり直したい場合は、セットアップメニューで、**ⓐ 日時設定**または **ⓑ 言語/LANG** を選んだあとに、以下の手順で設定できます。

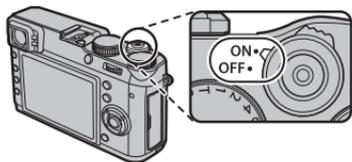
### ● 操作ボタンについて

この使用説明書では、操作するボタンを ▲▼◀▶ で表しています。



### 1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



### 2 ▲▼ で使用する言語を選び、MENU/OK ボタンを押します。

### 3 ▲▼ で年月日の並び順を設定します。



### 4 年、月、日、時、分を設定します。

◀▶ で設定する項目(年、月、日、時、分)を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。



### 5 MENU/OK ボタンを押します。

設定が終了して、撮影を開始できます。

- ◆ バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

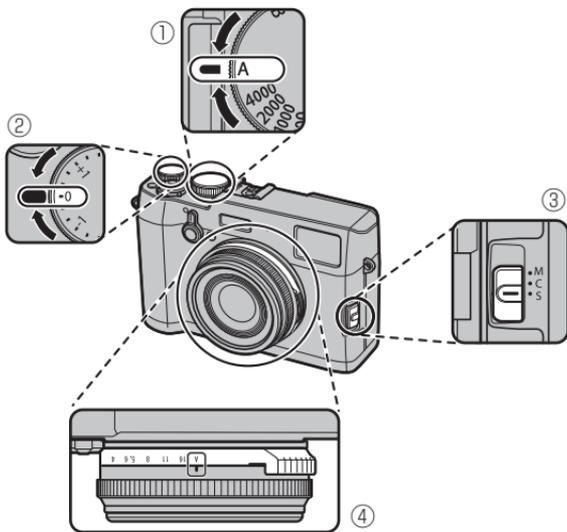
### ● 設定のスキップ

DISP/BACK ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

## 静止画を撮影する

ここでは、プログラム（P）撮影の基本的な流れを説明します。

**1** カメラの設定をプログラム（P）撮影の設定にします。



- ① シャッタースピード : A (オート)
- ② 露出補正 : ± 0
- ③ フォーカスモード : S (シングル AF)
- ④ 絞り設定 : A (オート)

表示画面に **P** が表示されます。



OVF 画面



EVF/LCD 画面

### ● OVF 画面と EVF/LCD 画面について

ファインダーを覗いたときは、ファインダー切換レバーで、ハイブリッドビューファインダーの表示を光学ファインダー（OVF）または電子ビューファインダー（EVF）に切り換えることができます。



## 2 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



## 3 被写体を中央にしてシャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。



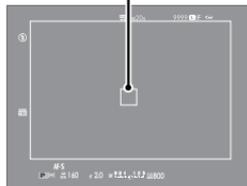
### ピントが合ったとき

- ピピッと音が鳴り、AF フレームが緑色に点灯します。

### ピントが合わないとき

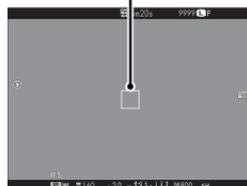
- AF フレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示されます。

AF フレーム



OVF 画面

AF フレーム



EVF/LCD 画面

- ◆ 被写体との距離が近すぎる場合は、ピント合わせができません。この場合は、マクロモードで撮影してください。
- ◆ 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光が発光する場合があります。AF 補助光は発光しないように設定を変更できます。
- ◆ シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。

## 4 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます (全押しします)。

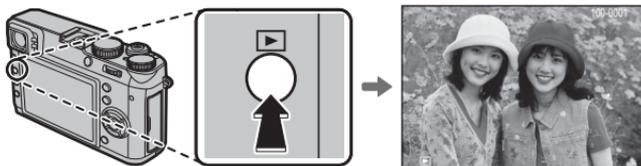


- ◆ 暗い場所では、シャッターボタンを全押ししたときに、フラッシュが発光する場合があります。フラッシュは発光しないように設定を変更できます。

## 静止画を再生する

### 1 コマ再生

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。



1つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。

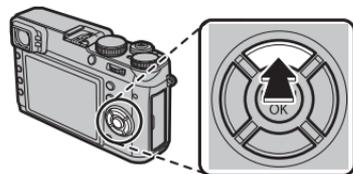
- ◆ フォーカスリングを回しても前後の画像を表示できます。
- ◆ 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに  (プレゼントアイコン) が表示されます。

#### ★ お気に入りを設定する

1コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、★ お気に入りのランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数 (0 ~ 5) を設定します。

## 撮影時の情報確認

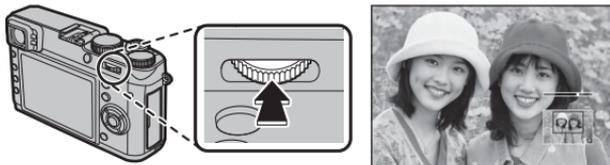
1 コマ再生時に撮影時の情報を確認できます。▲ を押すごとに、表示が切り換わります。



◆ フォーカシングを回すか、◀▶ を押すと、前後の画像に切り換えることができます。

### ● ピントの位置を拡大表示する

コマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度押すと、1 コマ再生に戻ります。

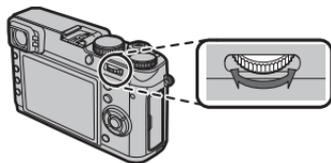


静止画を再生する

## 再生ズーム

1 コマ再生時にコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押します。

◆ 1 コマ再生画面でコマンドダイヤルを左に回すと、「マルチ再生」の9コマ再生画面になります。



右に回すと拡大



右に回すと拡大



左に回すと縮小

◆ 最大ズーム倍率は、設定した撮影メニューの **画像サイズ** によって変わります。

◆ 再生メニューの **リサイズ** または **トリミング** の **640** で保存された画像は、再生ズームは使えません。

### ナビゲーションについて



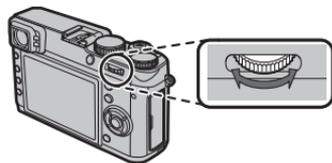
ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

拡大表示中に **▲▼◀▶** で、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。

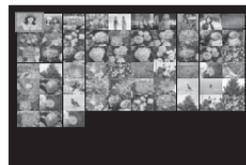
## マルチ再生

1 コマ再生時にコマンドダイヤルを左に回すと、9コマ、100コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。

◆ 1 コマ再生画面でコマンドダイヤルを右に回すと拡大画像が表示されます。



コマンドダイヤルを左に回すたびに表示される画像が増えます。



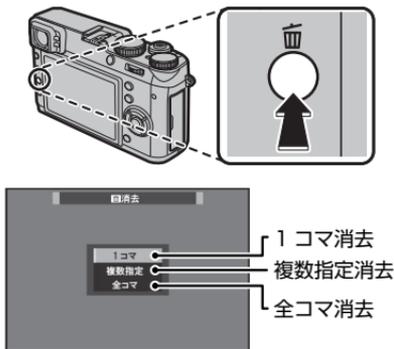
コマンドダイヤルを右に回すたびに表示される画像が減ります。

- ▲▼◀▶ で画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示できます。
- ▲または ▼ でページを切り換えることもできます。

## 画像を消去する

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

1コマ再生時に  ボタンを押して、消去方法を選びます。



- ◆ プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください。
- ◆ 再生メニューの  消去でも、画像を消去できます。

### 1 コマ消去

画像を1コマだけ消去します。

- 1 コマ再生中に  ボタンを押して、1コマを選びます。
- 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。
  - ◆ MENU/OK ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
  - ◆ MENU/OK ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押してください。

## 複数指定消去

☑ が表示されている画像をまとめて消去できます。

◆ プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、**1** が表示されます。



**1** 1 コマ再生中に **1** ボタンを押して、複数指定を選びます。

**2** 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。

- 選択された画像は **☑** が表示されます。
- もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

**3** まとめて消去する画像を選択指定した後、**DISP/BACK** ボタンを押します。  
消去実行画面が表示されます。

**4** 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

## 全コマ消去

画像がすべて消去されます。

**1** 1 コマ再生中に **1** ボタンを押して、全コマを選びます。

**2** 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。

① メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード内の画像がすべて消去され、メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像がすべて消去されます。

① **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

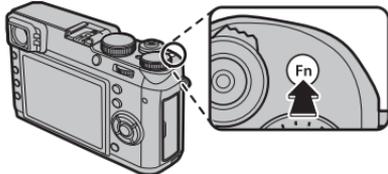
◆ プリント予約を設定している画像を消去しようとする時、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

## 動画を撮影 / 再生する

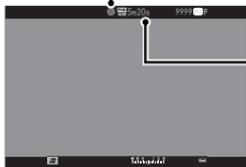
### ハイビジョン動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

- 1** Fn (ファンクション 1) ボタンを押すと、動画撮影が開始されます。



撮影中は、●が表示されます。



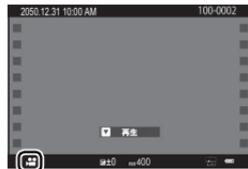
動画撮影の残り時間  
(カウントダウン) が  
表示されます。

- 2** もう一度 Fn ボタンを押すと、撮影が終了します。  
残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

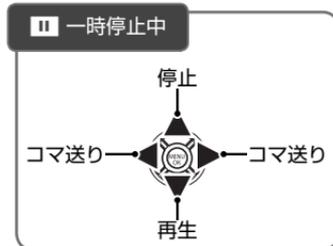
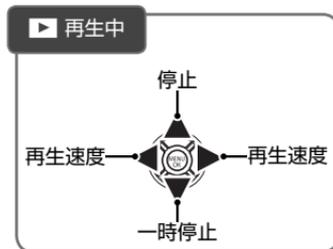
① 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。

### 動画を再生する

画像の再生時に動画を選択すると、が表示されます。

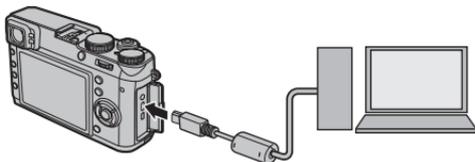


#### ■ 動画再生時の操作方法について



## カメラをパソコンに接続して画像を転送する

付属の USB ケーブルでカメラとパソコンを接続して、画像をパソコンに転送できます。



- ① USB ケーブルは、向きに気をつけて接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

### ● Windows をお使いの方

- MyFinePix Studio を使ってもカメラと接続したパソコンに画像を転送できます。また、MyFinePix Studio を使うと画像の閲覧、管理、印刷などをパソコン上で行うことができます。MyFinePix Studio は以下のサイトからダウンロードできます。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

- RAW 画像をパソコン上で現像したいときは、RAW FILE CONVERTER を使用します。RAW FILE CONVERTER は以下のサイトからダウンロードできます。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>

### ● Mac OS をお使いの方

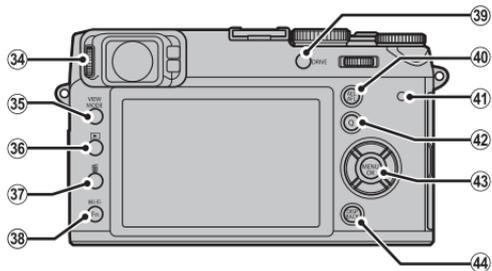
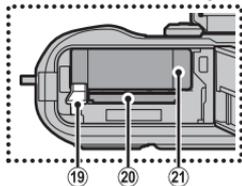
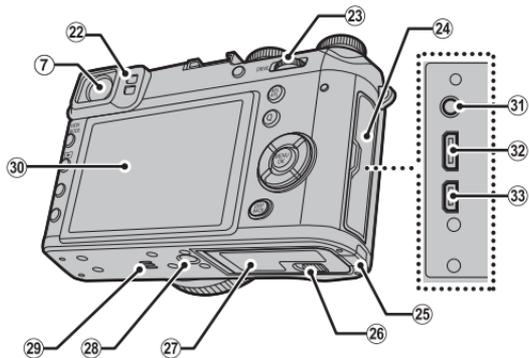
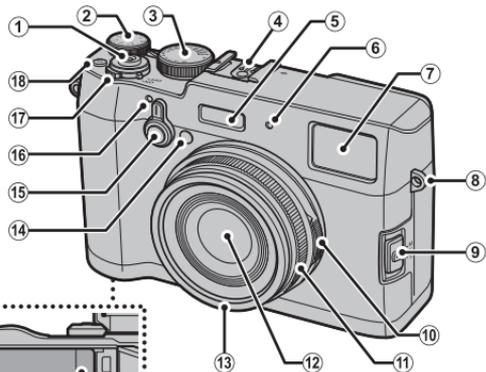
- RAW 画像をパソコン上で現像したいときは、RAW FILE CONVERTER を使用します。RAW FILE CONVERTER は以下のサイトからダウンロードできます。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>



# 各部名称

## 各部の名称

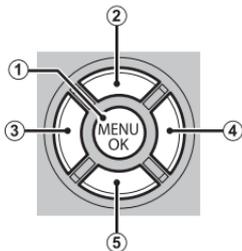


- |                           |                             |  |
|---------------------------|-----------------------------|--|
| ① シャッターボタン                | ⑬ 電源レバー                     | ⑳ 視度調節ダイヤル   |
| ② 露出補正ダイヤル                | ⑭ <b>Fn</b> ボタン (ファンクション 1) | ㉑ <b>VIEW MODE</b> ボタン   |
| ③ シャッタースピードダイヤル           | ⑮ バッテリー取り外しつまみ              | ㉒ <b>▶</b> (再生) ボタン  |
| ④ ホットシュー                  | ⑯ メモリーカードスロット               | ㉓ <b>⏏</b> (消去) ボタン (再生時)  |
| ⑤ フラッシュ                   | ⑰ バッテリー挿入部                  | <b>Fn</b> ボタン (ファンクション 6)  |
| ⑥ マイク (L)                 | ⑱ アイセンサー                    | ㉔ <b>Wi-Fi</b> ボタン   |
| ⑦ ハイブリッドビューファインダー         | ㉑ コマンドダイヤル                  | <b>Fn</b> ボタン (ファンクション 7)  |
| ⑧ ストラップ取り付け部              | ㉒ 端子カバー                     | ㉕ <b>DRIVE</b> ボタン   |
| ⑨ フォーカスモード切換スイッチ          | ㉓ DC カプラーカバー                | ㉖ <b>AEL/AFL</b> (AE ロック / AF ロック) ボタン   |
| ⑩ 絞りリング                   | ㉔ バッテリーカバーロック               | ㉗ インジケータランプ  |
| ⑪ フォーカスリング                | ㉕ バッテリーカバー                  | ㉘ <b>Q</b> ボタン   |
| ⑫ レンズ                     | ㉖ 三脚用ねじ穴                    | ㉙ セレクターボタン ( <b>▲</b> 、 <b>▼</b> 、 <b>◀</b> 、 <b>▶</b> 、 <b>MENU/OK</b> ) / ファンクションボタン |
| ⑬ フロントリング                 | ㉗ スピーカー                     | ㉚ <b>DISP/BACK</b> (表示 / 戻る) ボタン   |
| ⑭ AF 補助光ランプ<br>セルフタイマーランプ | ㉘ 液晶モニター (LCD)              |  |
| ⑮ ファインダー切換レバー             | ㉙ マイク / リモートリリース端子          |  |
| ⑯ マイク (R)                 | ㉚ マイクロ USB 端子               |  |
|                           | ㉛ マイクロ HDMI 端子*             |  |

\* HDMI ケーブルは、長さが 1.5m 以内のものをご使用ください。

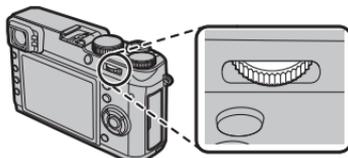
## セレクターボタン

▲▼◀▶（上下左右）ボタンを押して項目を選択したり、機能を使用したりできます。



- ① MENU（メニュー）/OK ボタン
- ② 上に移動（▲）、マクロ、ファンクション 2 ボタン
- ③ 左に移動（◀）、フィルムシミュレーション、ファンクション 3 ボタン
- ④ 右に移動（▶）、ホワイトバランス、ファンクション 4 ボタン
- ⑤ 下に移動（▼）、フォーカスエリア選択、ファンクション 5 ボタン

## コマンドダイヤル



コマンドダイヤルは、メニューなどの選択の他に以下のような機能にも使えます。

- 再生時に画像を拡大表示 / マルチ再生
  - クイックメニューの設定値変更
- また、コマンドダイヤルの中央を押すと、以下のような機能が使えます。

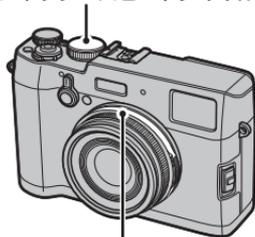
- 拡大してピントを確認
- 再生時にピントを合わせた位置を拡大表示



## シャッタースピードダイヤルと絞りリング

シャッタースピードダイヤルと絞りリングの設定で、撮影モード（P、S、A、M）を設定します。

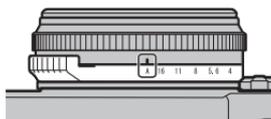
シャッタースピードダイヤル



絞りリング

### ■ Pモード

プログラムシフトができるオートモードです。



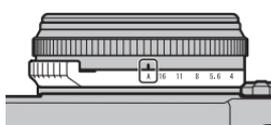
絞り：A



シャッタースピード：A

### ■ Sモード

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定するモードです。



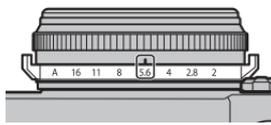
絞り：A



シャッタースピード：任意

### ■ Aモード

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定するモードです。



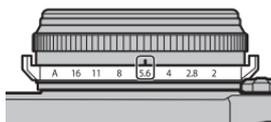
絞り：任意



シャッタースピード：A

### ■ Mモード

シャッタースピードと絞り値を撮影者が設定するモードです。



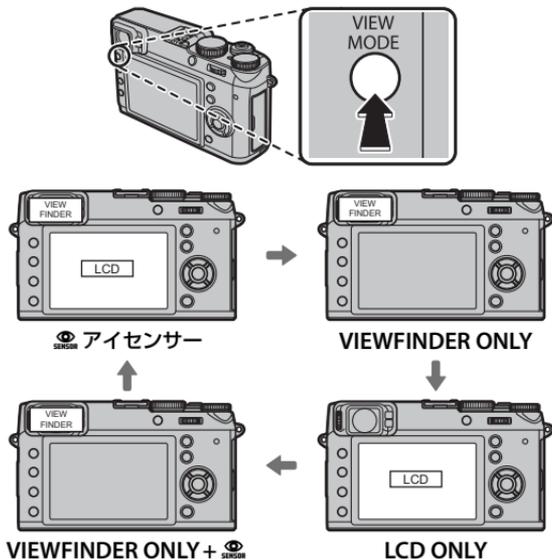
絞り：任意



シャッタースピード：任意

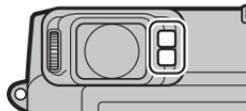
## VIEW MODE ボタン

**VIEW MODE** ボタンを押すごとに、液晶モニター（LCD）とビューファインダーの表示が以下のように切り換わります。



設定	内容
アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り換わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
<b>VIEWFINDER ONLY</b>	ファインダーにのみ表示します。
<b>LCD ONLY</b>	液晶モニターにのみ表示します。
<b>VIEWFINDER ONLY +</b>	ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。

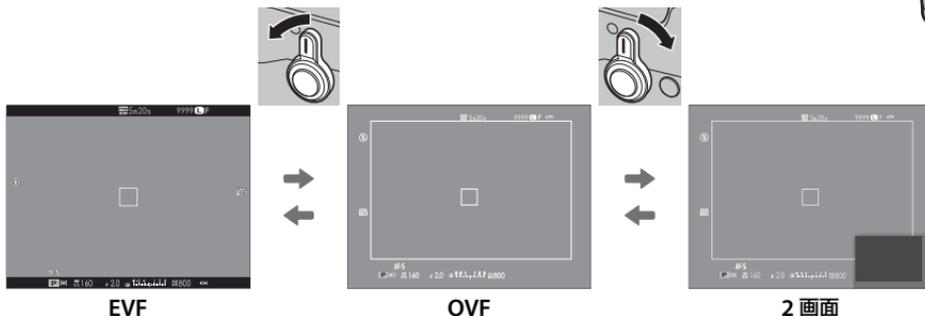
### アイセンサーについて



目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。

## ファインダー切替レバー

ファインダー切替レバーで、ハイブリッドビューファインダーの表示を光学ファインダー（OVF）または電子ビューファインダー（EVF）に切り換えることができます。OVF 表示では、2 画面表示にすることもできます。ファインダーレバーをそれぞれの方向に引くと、以下のように画面が切り換わります。



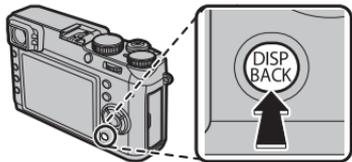
### ● ハイブリッドファインダー（OVF/EVF/2画面）について

OVF/EVF/2画面にはそれぞれ以下の特徴があります。

画面	説明
OVF	<ul style="list-style-type: none"> <li>光学式であるため、被写体をクリアに見ることができます。また、被写体がボケないので、いつでも表情を確認できます。</li> <li>写る範囲の少し外まで見えるため、フレーミングがしやすくなっています。</li> <li>ファインダーとレンズが別の場所についているため、視差（パララックス）が発生し、ファインダーで見た構図と若干異なって撮影されることがあります。</li> </ul>
EVF	<ul style="list-style-type: none"> <li>撮影後の画像をファインダーで確認できます。</li> <li>ファインダー視野率 100% のため、いつでも正確にフレーミングができます。</li> <li>ピントや被写界深度、明るさ、ホワイトバランスをライブビューで確認できます。</li> </ul>
2画面	光学ファインダー上でピントの確認ができます。

## DISP/BACK ボタン

撮影モードまたは再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



### ■ 撮影時：OVF

スタンダード



情報表示なし

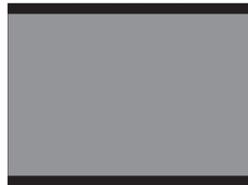


### ■ 撮影時：EVF

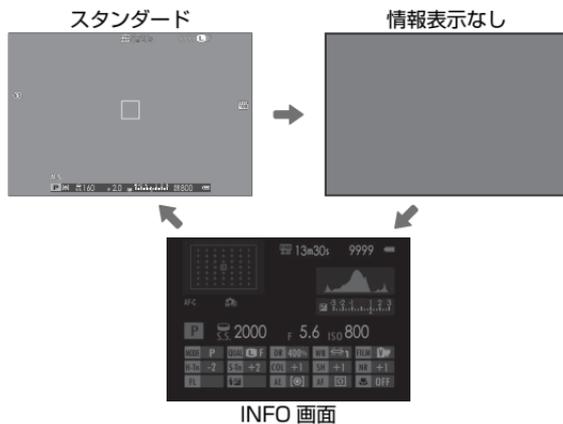
スタンダード



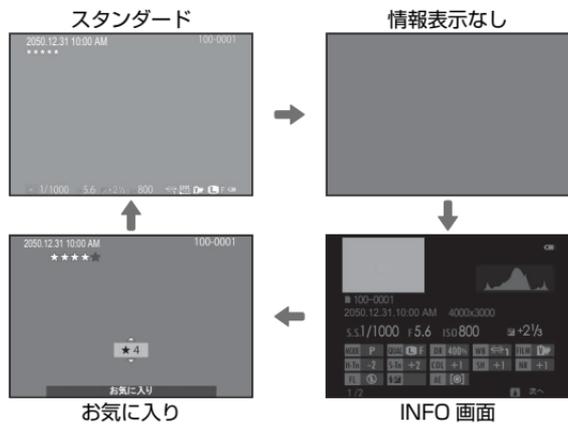
情報表示なし



## ■ 撮影時：LCD



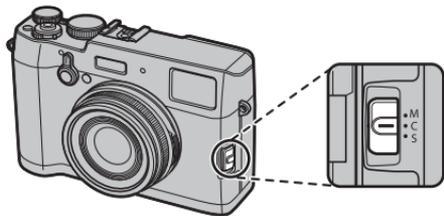
## ■ 再生時：EVF/LCD



① OVF での再生表示はありません。

### フォーカスモード切替スイッチ

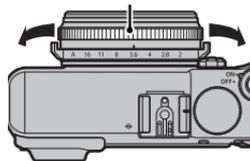
フォーカスモード切替スイッチで、ピント合わせの方法を変更できます。



### ● マニュアルフォーカス

**M**（マニュアルフォーカス）のときは、フォーカスリングを回すとピントが合います。

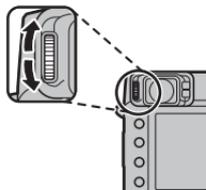
フォーカスリング



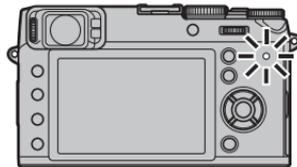
設定	説明
<b>M</b> (マニュアルフォーカス)	ピントを手動で合わせたいときに使用します。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します。
<b>C</b> (コンティニュアスAF)	シャッターボタンを半押しすると常にピントを合わせ続けるため、動きのある被写体の撮影に適しています。
<b>S</b> (シングルAF)	スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。

## 視度調節ダイヤル

ファインダーの表示が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。



## インジケータランプ

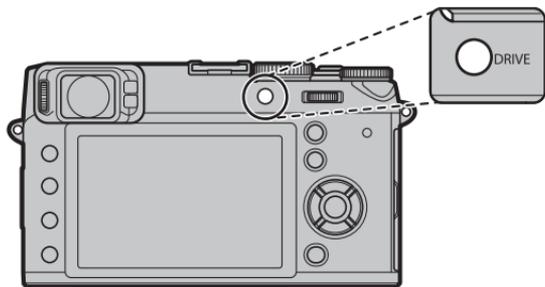


インジケータランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

インジケータランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	手ブレ警告、AF 警告、AE 警告です（撮影できません）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

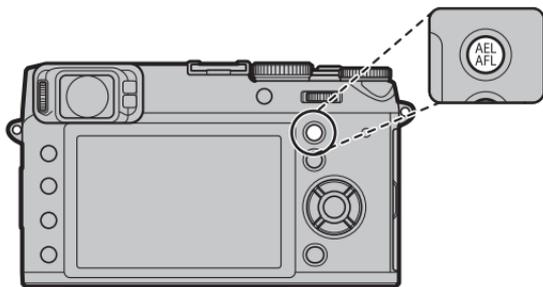
◆ 画面にも、警告表示が表示されます。

## DRIVE ボタン



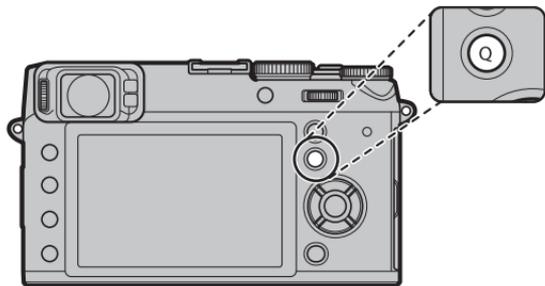
**DRIVE** ボタンを押すと、連写やブラケティングなどの撮影を選べます。

## AEL/AFL ボタン



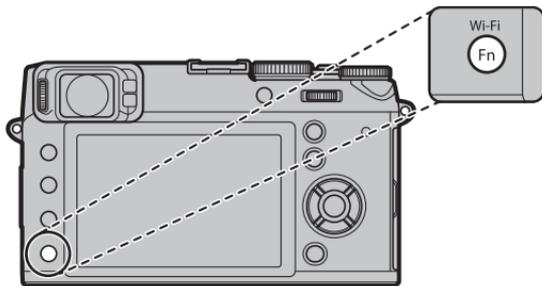
**AEL/AFL** ボタンを押して、露出の固定（AE ロック）やピントの固定（AF ロック）ができます。

## Q ボタン



**Q** ボタンを押すと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。セレクターで設定を変更したい項目を選び、コマンドダイヤルで設定値を変更します。

## Wi-Fi ボタン



**Wi-Fi** ボタンを押すと、無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンにあらかじめFUJIFILMの無料スマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。

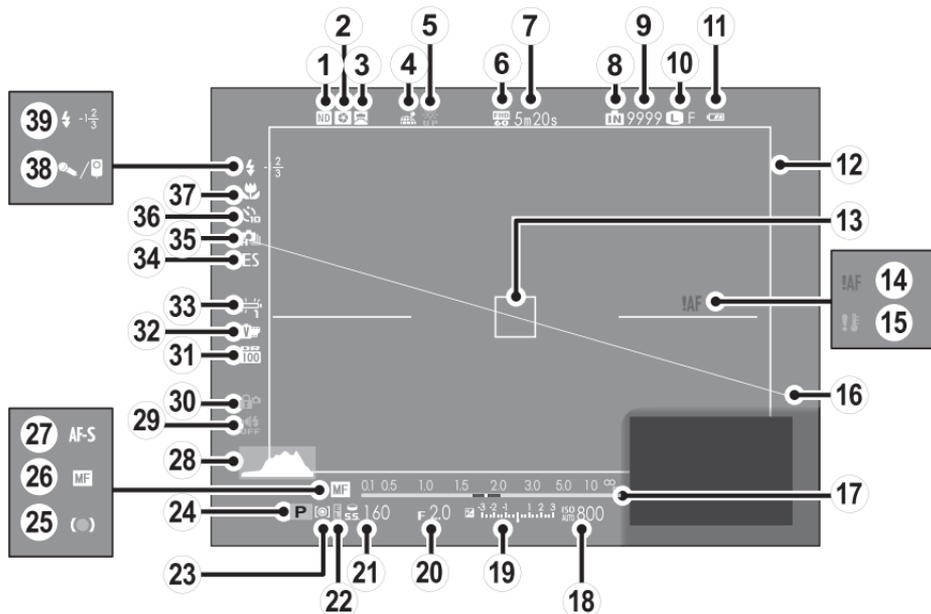
## 画面の表示

撮影時および再生時には、画面に次の情報が表示されます。

① 説明のため情報はすべて表示しています。

### 静止画撮影時

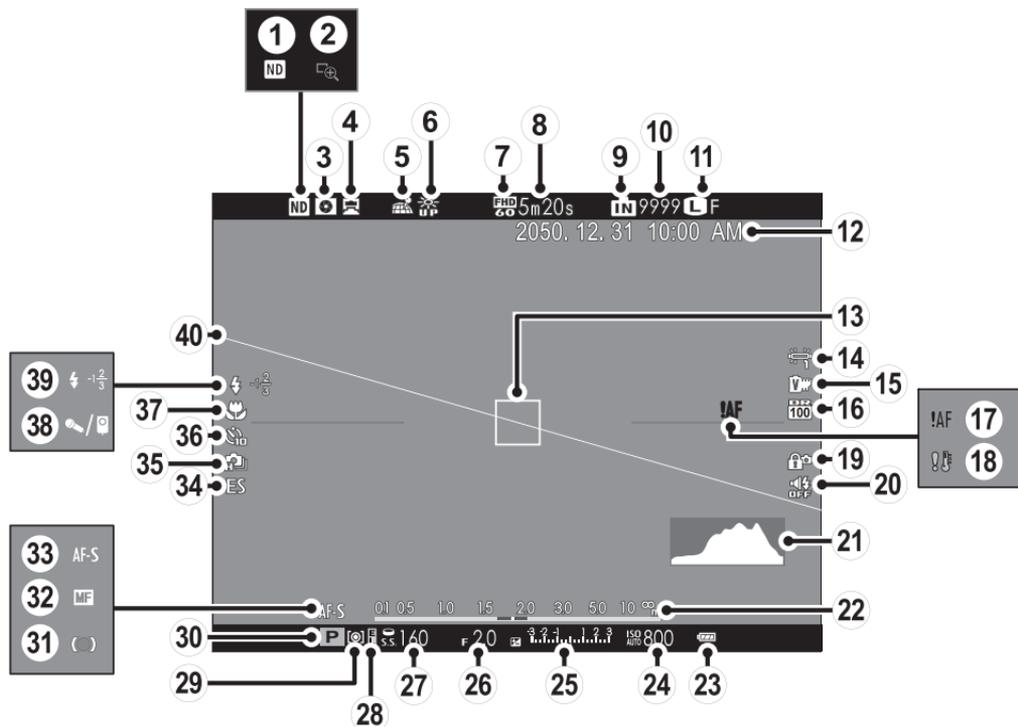
#### 光学ファインダー（OVF）



\* **IAF** はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

- ① ND フィルター
- ② 被写界深度確認
- ③ コンバージョンレンズ
- ④ 位置情報取得状態
- ⑤ モニター晴天モード
- ⑥ 動画モード
- ⑦ 動画撮影の残り時間
- ⑧ 内蔵メモリー \*
- ⑨ 撮影可能枚数
- ⑩ 画像サイズ・画質モード
- ⑪ バッテリー残量表示
- ⑫ ブライトフレーム
- ⑬ AF フレーム
- ⑭ AF 警告
- ⑮ 温度警告
- ⑯ 電子水準器
- ⑰ 距離指標バー
- ⑱ ISO 感度
- ⑲ 露出インジケーター
- ⑳ 絞り値
- ㉑ シャッタースピード
- ㉒ AE ロック
- ㉓ 測光モード
- ㉔ 撮影モード
- ㉕ 合焦マーク
- ㉖ マニュアルフォーカス
- ㉗ AF モード
- ㉘ ヒストグラム
- ㉙ マナーモード
- ㉚ ボタンロック
- ㉛ ダイナミックレンジ
- ㉜ フィルムシミュレーション
- ㉝ ホワイトバランス
- ㉞ シャッター方式
- ㉟ 連写モード
- ㊱ セルフタイマー
- ㊲ マクロ (近距離)
- ㊳ マイク / リモートリリース設定
- ㊴ フラッシュ・フラッシュ調光補正

電子ビューファインダー（EVF） / 液晶モニター（LCD）



\* **IN** はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

- |              |                |                   |
|--------------|----------------|-------------------|
| ① ND フィルター   | ⑩ 撮影可能枚数       | ⑩ 電子水準器           |
| ② フォーカスチェック  | ⑪ 画像サイズ・画質モード  | ⑪ マイク/リモートリリース設定  |
| ③ 被写界深度確認    | ⑫ 日付・時刻        | ⑫ フラッシュ・フラッシュ調光補正 |
| ④ コンバージョンレンズ | ⑬ AF フレーム      | ⑬ セルフタイマー         |
| ⑤ 位置情報取得状態   | ⑭ ホワイトバランス     | ⑭ マクロ (近距離)       |
| ⑥ モニター晴天モード  | ⑮ フィルムシミュレーション | ⑮ シャッター方式         |
| ⑦ 動画モード      |                | ⑯ 絞り値             |
| ⑧ 動画撮影の残り時間  |                | ⑯ シャッタースピード       |
| ⑨ 内蔵メモリー*    |                | ⑰ AE ロック          |
|              |                | ⑰ 測光モード           |
|              |                | ⑱ ダイナミックレンジ       |
|              |                | ⑱ AF 警告           |
|              |                | ⑲ 温度警告            |
|              |                | ⑲ ボタンロック          |
|              |                | ⑳ マナーモード          |
|              |                | ㉑ ヒストグラム          |
|              |                | ㉒ 距離指標バー          |
|              |                | ㉓ バッテリー残量表示       |
|              |                | ㉔ ISO 感度          |
|              |                | ㉕ 露出インジケーター       |
|              |                | ㉖ 絞りの値            |
|              |                | ㉗ シャッタースピード       |
|              |                | ㉘ AE ロック          |
|              |                | ㉙ 測光モード           |
|              |                | ㉚ 撮影モード           |
|              |                | ㉛ 合焦マーク           |
|              |                | ㉜ マニュアルフォーカス      |
|              |                | ㉝ AF モード          |
|              |                | ㉞ シャッター方式         |
|              |                | ㉟ 連写モード           |
|              |                | ㊱ セルフタイマー         |
|              |                | ㊲ マクロ (近距離)       |
|              |                | ㊳ マイク/リモートリリース設定  |
|              |                | ㊴ フラッシュ・フラッシュ調光補正 |
|              |                | ㊵ 電子水準器           |

### EVF の縦表示について

セットアップメニューの  表示設定 > EVF 縦横自動回転表示が ON のときは、撮影時にカメラを縦向きにすると、ファインダーの表示が縦向きになります。

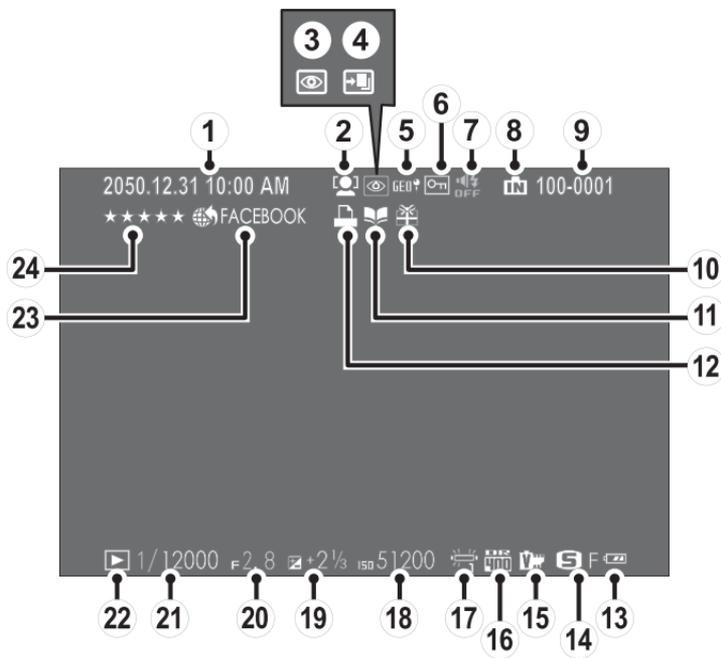
① 液晶モニター (LCD) の表示は、縦向きにはなりません。



## 再生時

### ビューファインダー (EVF) / 液晶モニター (LCD)

① OVF での再生表示はありません。



- |                    |                |             |
|--------------------|----------------|-------------|
| ① 日付・時刻            | ⑪ フォトブックアシスト   | ⑳ シャッタースピード |
| ② 顔キレイナビ           | ⑫ プリント予約       | ㉑ 再生モード     |
| ③ 赤目補正             | ⑬ バッテリー残量表示    | ㉒ アップロード先設定 |
| ④ ぼかしコントロール、連写重ね撮り | ⑭ 画像サイズ・画質モード  | ㉓ お気に入り     |
| ⑤ 位置情報             | ⑮ フィルムシミュレーション |             |
| ⑥ プロテクト            | ⑯ ダイナミックレンジ    |             |
| ⑦ マナーモード           | ⑰ ホワイトバランス     |             |
| ⑧ 内蔵メモリー           | ⑱ ISO 感度       |             |
| ⑨ コマ NO.           | ⑲ 露出補正         |             |
| ⑩ プレゼント            | ㉔ 絞り値          |             |

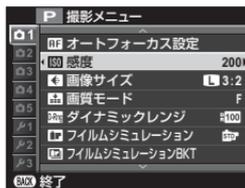


## 撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

### 撮影メニューの使い方

- 1** MENU/OK ボタンを押します。  
撮影メニューが表示されます。



- 2** ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。

- 3** ▶ で設定の変更に移ります。



- 4** ▲ または ▼ で設定を変更します。
- 5** MENU/OK ボタンを押して、決定します。
- 6** DISP/BACK ボタンを押して、撮影画面に戻ります。

## 撮影メニュー一覧

▼メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

### **AF** オートフォーカス設定

オートフォーカスに関する設定を変更できます。

### **ISO** 感度

撮影感度を変更できます。

### **📷** 画像サイズ

撮影する画像の大きさを変更できます。

### **📷** 画質モード

撮影する画像の圧縮率を変更できます。

### **D-Range** ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。

### **F** フィルム シミュレーション

撮影する画像の発色や階調を変更できます。

### **F** フィルムシミュレーション BKT

フィルムシミュレーションブラケティングで撮影するフィルムシミュレーションの設定を変更できます。

### **ND** ND フィルター

ND フィルターを使用するかどうかを設定できます。

### **Color** カラー

画像の色の濃さを調整できます。

### **Sharp** シャープネス

画像の輪郭を調整できます。

### **Tone** ハイライトトーン

画像のハイライト部の階調を調整できます。

### **Tone** シャドウトーン

画像のシャドウ部の階調を調整できます。

### **NR** ノイズリダクション

高感度撮影時のノイズ低減を調整できます。

### **📷** 長秒時ノイズ低減

長時間露光撮影時にノイズ低減するかどうかを設定できます。

### **WB** ホワイトバランス

ホワイトバランスを設定できます。

### **📷** カスタム選択

**📷** カスタム登録 / 編集で保存した設定を呼び出せます。

### **📷** カスタム登録 / 編集

自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせ保存できます。

### **Fn** ファンクション (Fn) 設定

**Fn** (ファンクション) ボタンに割り当てる機能を設定できます。

### 画面のカスタマイズ

ファインダーや液晶モニターに表示する情報を設定できます。

### コンバージョンレンズ

使用する別売のコンバージョンレンズに合わせて設定を変更できます。

### MF アシスト

マニュアルフォーカス時のピント確認方法を変更できます。

### アドバンストフィルター

撮影時のフィルター効果を選択できます。

### インターバルタイマー撮影

インターバルタイマー撮影を設定できます。

### セルフタイマー

セルフタイマーを設定できます。

### AE/AF-LOCK 設定

AE/AF-Lock ボタンを押したときの動作を変更できます。

### AE/AF-LOCK 機能選択

AE/AF-Lock ボタンを押したときの機能を変更できます。

### 測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。

### 測光 & フォーカスエリア連動

測光が  スポットのときに、AF フレームの位置で測光するかどうかを設定できます。

### 赤目補正

フラッシュ撮影時に赤目補正するかどうかを設定できます。

### 補正前画像記録

赤目補正時に、処理前画像を同時記録するかどうかを設定できます。

### フラッシュモード

使用するフラッシュのモードを選べます。

### フラッシュ調光補正

フラッシュの発光量を変更できます。

### シャッター方式

シャッター方式を変更できます。

### 動画設定

動画撮影に関する設定を変更できます。

### ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。

## 再生の設定を変える — 再生メニュー

画像の再生時に使う機能を設定できます。

### 再生メニューの使い方

**1** **▶** ボタンを押します。

再生モードに切り換わります。

**2** **MENU/OK** ボタンを押します。

再生メニューが表示されます。



**3** **▲** または **▼** で変更する項目を選びます。

**4** **▶** で設定の変更に移ります。

**5** **▲** または **▼** で設定を変更します。

**6** **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

**7** **DISP/BACK** ボタンを押して、再生画面に戻ります。

## 再生メニュー一覧

### RAW 現像

RAW 画像を JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

### 消去

画像を消去できます。

### トリミング

画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。

### リサイズ

画像のサイズを小さくできます。

### プロテクト

画像をプロテクトできます。

### 画像回転

画像を回転できます。

### 赤目補正

人物の赤目を補正できます。

### スライドショー

画像を順番に自動再生できます。

### フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

### アップロード先設定

画像や動画を選んで YouTube や Facebook、mixi へのアップロード先を設定できます。

### ピクチャーサーチ

画像を検索できます。

### 画像コピー

カメラの内蔵メモリーとカメラに装着したメモリーカード間で、画像をコピーできます。

### プリント予約 (DPOF)

DPOF や PictBridge 対応のプリンターでプリントする画像を指定できます。

### instax プリンタープリント

別売の FUJIFILM instax SHARE で画像を印刷できます。

### 表示比率

3:2 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。

### ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。

### PC 保存

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。

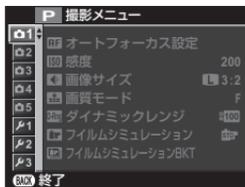
# カメラの設定を変える — セットアップメニュー

日時の設定、モニターの明るさなど、カメラの基本的な設定を変えられます。

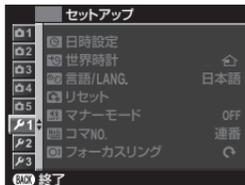
## セットアップメニューの使い方

**1** MENU/OK ボタンを押します。  
メニューが表示されます。

**2** ◀ でタブ選択に移ります。



**3** ▼ でセットアップタブに移ります。



**4** ▶ でセットアップ画面を表示します。

**5** ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。



**6** ▶ で設定の変更に移ります。



**7** ▲ または ▼ で設定を変更します。

**8** MENU/OK ボタンを押して、決定します。

**9** DISP/BACK ボタンを押して、撮影画面または再生画面に戻ります。

## セットアップメニュー一覧

### 日時設定

日付と時刻を設定できます。

### 世界時計

カメラの時計を現地時間に変更できます。

### 言語/LANG.

表示言語を変更できます。

### リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻せます。

### マナーモード

マナーモードを設定できます。

### コマ NO.

コマ NO. (フォルダ NO. - ファイル NO.) の付け方を変更できます。

### フォーカスリング

フォーカスリングの回転方向を変更できます。

### フォーカスチェック

マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示するように設定できます。

### 音設定

音に関する設定を変更できます。

### 表示設定

画面表示に関する設定を変更できます。

### セレクターボタン設定

セレクターボタンの機能を変更できます。

### クイックメニュー登録 / 編集

クイックメニューに表示する機能を変更できます。

### 消費電力設定

消費電力に関する設定を変更できます。

### シャッター回数

シャッターが作動したおおよその回数を確認できます。シャッター回数はシャッターボタンを押す以外にも、電源 ON/OFF、OVF/EVF 切り換え、再生モードへ切り換えなどでカウントされます。

### ファイル名編集

ファイル名を変更できます。

### ワイヤレス設定

無線 LAN 機能に関する設定を変更できます。

### PC 保存先設定

PC 保存の保存先を設定できます。

### 位置情報設定

スマートフォンから取得した位置情報の設定を変更できます。

### instax プリンター接続設定

別売の FUJIFILM instax SHARE との接続を設定できます。

### 色空間

カラースペースを選択できます。

### フォーマット

メモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットできます。



富士フィルムでは、デジタルカメラに関するさまざまな情報をホームページで紹介しています。是非、アクセスしてみてください。

## FUJIFILM X100T 製品情報

製品情報サイトでは、サポート情報やアクセサリなどがご覧になれます。

富士フィルム X100T



## FUJIFILM 無料アプリケーション

富士フィルムが提供する無料のアプリケーションを使えば、スマートフォン / タブレット / パソコンで写真の楽しみ方が広がります。

<http://fujifilm-dsc.com/>

富士フィルム Wi-Fi アプリ



MyFinePix Studio (Windows のみ) を使うと画像の閲覧、管理、印刷などをパソコン上で行うことができます。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

富士フィルム マイファインピックススタジオ



RAW 画像をパソコン上で現像したいときは、RAW FILE CONVERTER を使用します。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>

富士フィルム RAW ファイルコンバーター



## 撮影の基礎知識

撮影シーンに合わせたレンズの選び方や焦点距離や露出値などのコントロール方法が記載されています。

富士フィルム 撮影の基礎知識

富士フィルム

ホーム 個人のお客様 ビジネスのお客様 サポート情報 研究開発・技術 企業情報 ネットショップ

撮影の基礎知識

お問い合わせ

目的から探す

ダウンロード

Q&A

お問い合わせ

修理サービス

データ復旧サービス

## デジタルカメラ撮影ガイド

色んなシーンの撮影方法が記載されています。

富士フィルム 撮影ガイド

FUJIFILM 富士フィルム

ホーム 個人のお客様 ビジネスのお客様 サポート情報 研究開発・技術 企業情報 ネットショップ

デジタルカメラ撮影ガイド

お問い合わせ

目的から探す

ダウンロード

Q&A

お問い合わせ

修理サービス

データ復旧サービス

# お取り扱いにご注意ください

## ご使用前に必ずお読みください

### 安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。  
 ・ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
 ・お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

**警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

**注意喚起** このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

**禁止** このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

**強制** このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

**警告**

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

・お買上げ店にご相談ください。

内部に水や異物を落とさない。

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

・お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でけがをする原因になります。

・感電やけがにご注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。

コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

・コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。



移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

転倒、交通事故などの原因になります。



雷が落ちると誘電雷により感電の原因になります。

指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性(⊕/⊖)表示どおりに入れてください。



電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。



指定外の電池・バッテリーやACパワーアダプターを使用しない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。



可燃性・爆発性ガス/粉塵のある場所で使用しない。



電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。



メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



混雑した場所（満員電車の中など）では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る。



本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える可能性があります。



自動制御機器（自動ドアや火災報知機など）の近くでは電源を切る。



本製品からの電波がペースメーカーに影響を与える可能性があり、誤動作による事故の原因になります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22cm以上離すこと。

本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

## ⚠ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

けがの原因になることがあります。



本製品の上に重いものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。



AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。

電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。



本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。



充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

コンセントにつけたままにしておくとう火災の原因になることがあります。



フラッシュを人の目に近づけて発光させない。

一時的に視力に影響することがあります。

特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。



メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。



定期的な内部点検・清掃を依頼する。

本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

・2 年に 1 度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。



フラッシュ発光部に指などを触れたまま発光しないこと。

やけどの危険があります。



フラッシュ発光部を汚したり、物でふさいだまま発光しないこと。

発煙や変色の原因になります。

## 電源についてのご注意

※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

## 1 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

## ■ バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時には撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

## ■ 充電について

- 充電は周囲の温度が 0℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
- +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなる場合があります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります。異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

電源プラグを抜く

## お取り扱いにご注意ください

### ■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

### ■保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が +15℃ ~ +25℃ くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

### ⚠ 危険ですので、次のことにご注意ください

- ⚠ バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。
- ⚠ 火気に近づいたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- ⚠ 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

### Ⓜ 単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形ニッケル水素電池使用機種

### ■取扱上のご注意

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。

- 外装チューブをはかしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液漏れしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性 (+ と -) に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池 (充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池)、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください (電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます)。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 寒冷地 (+10℃以下) では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。
- ⚠ 万、液漏れが起こったときは、電池挿入部についていた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。
- ⚠ 電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

### ■単 3 形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくための注意

- お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電電池放電機能をお試しください。「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。
- ⚠ 注意 アルカリ乾電池使用時は「充電電池放電」機能を使用しないでください。
- ニッケル水素電池用充電器は、ニッケル水素電池 HR-AA 専用です。乾電池や他の充電式電池を充電すると、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- ニッケル水素電池の充電は、専用の充電器を使用し、充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 充電器は、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなる場合があります。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します。(懐中電灯などでの放電)。放電はカメラの「充電電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性がります。

### ■電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

**❶ 両機種 (❶、❷) 共通のご注意****■ 小形充電式電池のリサイクルについて**

小形充電式電池 (リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など) はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。 <http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>

■ AC パワーアダプター使用機種  
必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。AC パワーアダプターに関する詳細は、取扱説明書をご参照ください。

**■ AC パワーアダプター使用機種**

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。AC パワーアダプターに関する詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- ・室内専用です。
- ・DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- ・DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください (コードを引っ張らないでください)。
- ・AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- ・使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- ・分解したりしないでください。危険です。
- ・高温多湿のところでは使用しないでください。
- ・落としたり、強いショックを与えないでください。
- ・内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ・ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

**カメラをお使いになる前のご注意****■ 撮影の前には試し撮りをしましょう**

大切な撮影 (結婚式や海外旅行など) をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※本製品の故障に起因する付随的損害 (撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など) については補償いたしかねます。

**■ 著作権についてのご注意**

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

**■ 製品の取り扱いについて**

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

**■ 液晶について**

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- ・皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- ・目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- ・飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

**■ 商標について**

- ・デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム (株) の商標または登録商標です。
- ・**SD**、xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™ は富士フイルム (株) の商標です。
- ・DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- ・Macintosh、Mac OS、QuickTime は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・Windows 8、Windows 7、Windows Vista および Windows ロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- ・Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- ・SDHC ロゴ、SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- ・HDMI ロゴは商標です。
- ・mixi は株式会社ミクシィの登録商標です。
- ・YouTube は Google Inc. の登録商標です。
- ・その他社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

**■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意**

- ・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- ・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

## お取り扱いにご注意ください

### カメラの使用上のご注意

- ・カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けなくてください。撮像素子が破損する場合があります。
- ・太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

### ■避けて欲しい保存場所

- 次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。
- ・雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
  - ・直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
  - ・極端に寒いところ
  - ・振動の激しいところ
  - ・油煙や湯気の当たるところ
  - ・強い磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
  - ・防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

### ■冠水、浸水、砂かぶりにご注意ください

水や砂は本製品の天敵です。このカメラは、水中で使用できる構造になっていません。ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などが本製品の内部に入らないようにご注意ください。また、水でめれた場所の上には、本製品を置かないでください。バッテリー挿入部、メモリーカードスロット、端子類のカバー（蓋）は、使用前に確実に閉まっていることをご確認ください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

### ■結露（ゆづき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

### ■長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

### ■海外で使うとき

- ・このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- ・海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

### メモリーカード／内蔵メモリーについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

### ■メモリーカード取扱上のご注意

- ・メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- ・メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- ・指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- ・強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境での使用、保管は避けてください。
- ・静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ・ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- ・長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ・メモリーカードにはラベル類は一切はらえないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

### ■内蔵メモリーについて

- ・内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- ・修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- ・カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただきます。

### ■メモリーカード、または内蔵メモリーをパソコンで使用する場合がございます

- ・パソコンで使用したあとのメモリーカード、または内蔵メモリーを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- ・カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- ・パソコンでメモリーカード、または内蔵メモリーのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカード、または内蔵メモリーがカメラで使用できなくなる場合があります。
- ・画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- ・画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

**重要!** 本製品に搭載されている無線 LAN をご使用になる前に必ずお読みください。

① 本製品は、米国輸出規則 (EAR) の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。

無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 無線 LAN 機能はご購入求め頂いた国での利用を前提としています

本製品の無線 LAN 機能はご購入求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を順守してください。ご購入求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータ (画像) の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

本電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください (環境により電波が届かないことがあります)。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているもの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ 使用周波数帯

本製品の、使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用しています。

#### 無線 LAN 機器使用上の注意事項

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

● 産業・科学・医療用機器

● 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

(1) 構内無線局 (免許を要する無線局)

(2) 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

**2.4DS/OF4**

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、干渉距離が約 40 m であることを意味しています。





●本製品に関するお問い合わせは…

※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992  
 月曜日～金曜日 9:00～17:40/  
 土曜日、日曜日、祝日 10:00～17:00 (年末年始を除く) FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> の自己解決に役立つ「Q&A検索」もご利用ください。

- 修理サービスQ&A 修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。  
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html>
- 修理納期検索サービス 東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。  
<http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp>
- 修理料金のご案内 当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を確認できます。  
<http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php>

●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

- 修理のご相談受付窓口  
富士フイルム修理サービスセンター TEL 050-3786-1040 月曜日～金曜日 (日・祝日・年末年始を除く)  
9:00～17:40 / 土曜日 10:00～17:00  
FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)
  - 修理品ご送付受付窓口  
富士フイルム修理サービスセンター 〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1/TEL：050-3786-1040
  - ▶お急ぎの場合は、全国どこからでも **【FinePixクイックリペアサービス】** お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス  
<http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php> / TEL：050-3786-1020
  - ▶お近くのサービスステーション **【サービスステーション一覧】**  
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html>
- サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> または上記の<修理ご相談受付窓口>にてご確認ください・お問い合わせください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター (月曜日～金曜日 9:00～17:40 / 土曜日 10:00～17:00 ※日・祝日・年末年始を除く) TEL 050-3786-1711

※各窓口の営業時間は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。